

令和2年11月24日
株式会社日本政策金融公庫
松山支店

トレーサビリティを確立して新たな販路を開拓 ～選果設備導入を日本公庫と伊予銀行が支援～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）松山支店農林水産事業は、伊予銀行と連携して、農業生産法人株式会社ミヤモトオレンジガーデン（本社：八幡浜市、代表取締役：宮本泰邦）に対し、令和2年9月16日付けでスーパーL資金を融資しました。

同社は、温州みかんを中心に柑橘を生産し、加工、販売まで行う農業生産法人です。平成26年の設立以後、規模拡大を図り順調に売上を伸ばしています。さらに、グローバルGAPなどの認証を取得し、独自に開発したGAPシステム（MOG-GAPシステム）で生産工程を管理するなど商品の品質向上に力を入れています。

新型コロナウイルス感染症の影響により、百貨店や飲食店向けの販売が落ち込んだ同社は、新たな販路を模索するにあたり、かねてより課題であった栽培から収穫、選果、出荷までのトレーサビリティを確立するため、国の補助事業（ものづくり補助金〔コロナ特別枠〕）を活用し、MOG-GAPシステムと連携した選果設備を導入しました。これにより、栽培から収穫、選果、出荷までの栽培履歴など商品情報を箱詰め後に自動印字することができ、百貨店や外資系スーパーなどの新たな取引先の信頼確保と販路拡大に結びつきました。

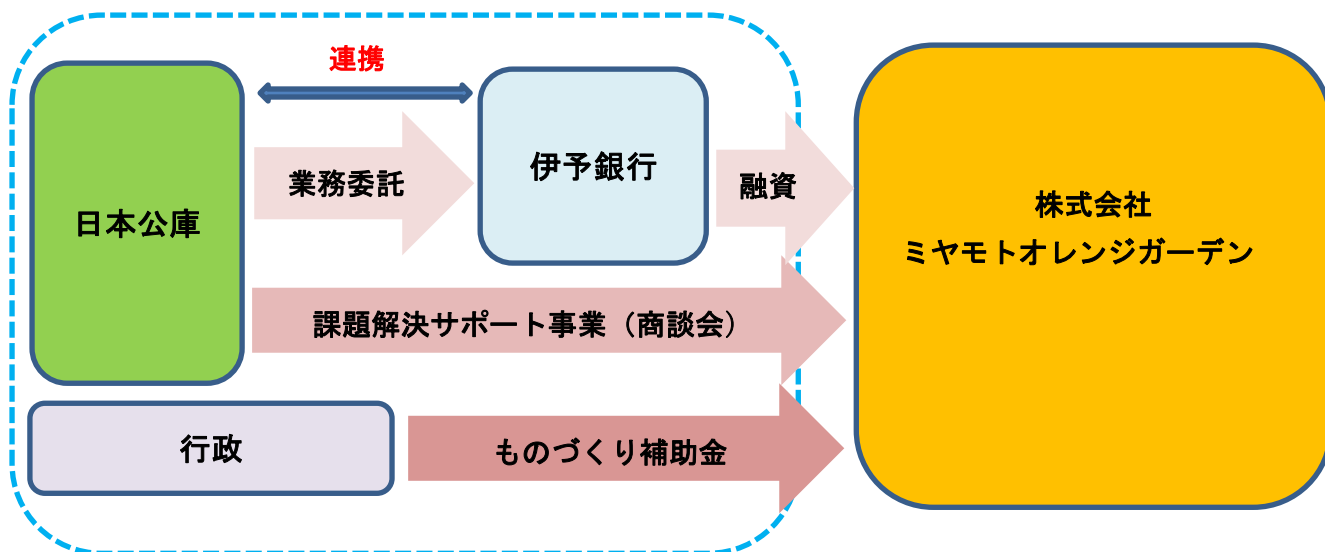
また、同社は日本公庫の「課題解決サポート事業」を活用して商談会に参加し、さらなる販路拡大に向けて取り組む予定です。

日本公庫は、今後も農林漁業者の皆さまの経営改善の取組みを支援して参ります。

〈お問い合わせ先〉

日本政策金融公庫 松山支店 農林水産事業 TEL:089-933-3371(担当:吉川・村上)
〒790-0003 松山市三番町6-7-3

【日本公庫及び伊予銀行の連携支援体制】



(参考)

1 企業概要

企業名	農業生産法人株式会社ミヤモトオレンジガーデン	代表者	宮本 泰邦 (代表取締役)
住所	愛媛県八幡浜市産業通 2 番 20 号		
経営の特徴	<p>○生果販売のほか、みかんジュース、寒天ゼリー、みかんを塩漬けにして熟成させた調味料「塩みかん」などの加工品も販売。</p> <p>○日本の柑橘業界で初めてグローバルGAPとASIA GAPを取得。さらには自社で独自に開発したGAPシステム（MOG-GAPシステム）で生産工程を管理するなど、安心・安全な柑橘生産に取り組む。</p>		

2 資金制度概要

資金名	資金の使いみち	融資限度額	融資期間 (うち据置期間)
スーパーL資金 (農業経営基盤強化資金)	農業経営改善計画の 達成に必要な資金	【個人】 3億円 (特認6億円) 【法人】 10億円 (特認20億円)	25年以内 (10年以内)

3 課題解決サポート事業概要

日本公庫農林水産事業の資金をご利用いただいているお客さまを対象に、専門家と連携して、融資以外の手法によりお客様の経営課題の解決をサポートする事業です。